

近代日本をつくったまち

工都★新居浜

～なぜ、新居浜は有数の工業都市として発展しているのか?～

新居浜市は世界有数の産出量を誇った別子銅山の開坑以来、銅(あかがね)のまちとして発展してきました。今回は、自然と共存し、工業都市として発展してきた新居浜市の魅力を歴史とともに紐解いていく内容となっています。観光として楽しみながらも、先人の想いや史実を通して、未来に繋がるSDGsのヒントも得られる学びの多い旅となることを期待しております。



新居浜市 石川市長



新居浜駅 大石駅長

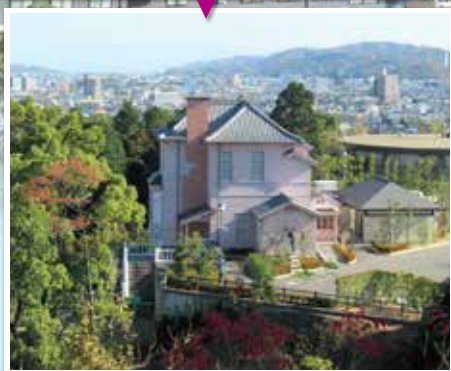
人口約12万人、愛媛県東部の新居浜市は、元禄4年(1691年)の別子銅山開坑によって繁栄し、「あかがねのまち」として知られています。別子銅山は昭和48年(1973年)に休山されましたが、沿岸地域には別子銅山と共に繁栄した工場が多く、四国屈指の工業都市として発展しています。街の発展を「銅(あかがね)」と歴史から紐解きます。

出発日
2022年 **5月20日[金]・21日[土]** **限定 2団**

- 募集人員/各日20名様(最少催行人員/各日16名様)
- 添乗員/同行いたしません、新居浜駅から当社係員が同行します。
- 食事条件/昼1回
- 貸切バス会社/マイントピア別子バスセンター

新居浜観光ガイドの会
がご案内します!

1 日暮別邸記念館
四国島から新居浜市へ移築された、住友家の別邸です。明治時代の洋館で、レトロモダンな雰囲気を感じながら、住友の歴史を見学します。



2 リーガロイヤルホテル新居浜 特別ランチ
昭和期に住友倶楽部で提供した迎賓用の献立のイメージを再現した特別ランチをご堪能ください。

新居浜市からのプレゼント!

別子鉛本舗
「別子鉛レトロ袋」
永久堂
「かきくらべ」



5 旧広瀬邸
別子銅山を近代化し、事業発展の礎を築いた住友初代総理事「広瀬幸平」の邸宅。新居浜市内を一望できます。



6 別子銅山記念館
元禄3年(1690年)に露頭が発見され、翌年発掘を開始し283年掘り続けられた世界でも有数の銅山「別子銅山」の歴史等が学べる記念館です。

3 住友山田社宅・星越駅舎跡
昭和初期に住友企業の幹部社宅として整備された住友山田社宅群と、かつて別子銅山と新居浜市を結んだ「別子鉱山鉄道」の星越駅舎跡を見学します。



*写真はすべてイメージです。



お申し込み・お問い合わせは、JR四国旅の予約センター・ワープ支店・駅ワーププラザ・WEBサイト「JR四国ツアー」へどうぞ



